

## 第2学期終業式を終えて

2学期終業式の後、生徒は短い時間で「終業式を終えて」を記入しました。

この取組は、聞いた話を要約したり自分の考えを組み入れたりした文章を短い時間でまとめることを通じ、思考力・表現力等の向上を目指すものです。

内容は、「1 今日の校長先生の話の要点は、どのようなことでしたか。箇条書きで書きましょう。」「2 上記の内容をもとに、自分が感じたり考えたりしたことなどを、文章で書きましょう。」の2つです。各学年から、私とその考え方に感心させられた何名かの内容を紹介します。

1年 K.S.

### 1・7つの質問

- ・ SNS について
  - ・ 自転車のルール
  - ・ 感謝を伝える
- 2・私は、今日の校長先生の話聞き、まず SNS について、もう一度ルールを見直そうと思いました。SNS は自由に発言することができるので、その分トラブルが起こりやすい、とニュースで言っているのを聞いたことがあります。確かに、自分が思ったことを自由に発言できるということは、悪口などの悪質なコメントもできます。だからこそ、これを言ったら相手はどう思うだろうか、を考えて発言しないと、と思いました。次に、7つの質問の中の4つ目についてです。私は今、中学1年生です。様々大変なこともあります。そんな中、たまに勉強をなまけてしまったり、変なことで家族とけんかしている私は、5歳の私から見て果たしてカッコいいと思われるのか、そう考えたとき、私はもう一度日々の生活を見直し、誰が見てもカッコいい！！と思えるような自分になるように自分を奮い立たせ、中学生としての自覚をもって生活したいです。

1年 S.H.

### 1・7つの問いかけ

- ・ 健康に過ごしてほしい
  - ・ クリスマスとは
- 2・校長先生のお話の中に、5歳のときの自分が自分を誇りに思えるのか？という問いかけがあり、いつも、他人から見た自分がどう見えるかということばかり気にし、人と関わる楽しさを忘れかけていたことに気づかされました。周りの目ばかりを気にするのではなく、自分を客観的に見て誇れるのか、胸を張ることができるのか、よく考えて残りの人生を過ごしていこうと思いました。

1年 R.H.

### 1・7つの問いかけ

- ・ 冬休みについて
  - ・ オーストラリアの SNS
- 2・私は、校長先生の話の中で考えや感じたことが大きく分けて2つあります。1つ目は、自分とは何か、について考える大切さです。校長先生がお話されていた7つの問いかけ。私は聞いている中で、この7つの問いかけについてどんな意味が込められているのかと考えていました。私なりの答えは、自分について知ることの大切さを表しているのかなと思いました。2つ目は、SNS についてです。私も SNS は日常で欠かせないものとなっています。私は、オーストラリアの話聞いたとき、とても大きな衝撃を受けました。さすがに、ありえないかな、と。だけど話を聞いていく中で、SNS は何よりも危険な凶器になってしまうことが分かりました。私はこの2つをとおして、「自分」について見つめ直し、自分自身で守りたいと思いました。

1年 S.O.

1・7つの質問

- ・テクノロジーのあり方 → ネットいじめ。SNS 使い方
- ・冬休み、健康、クリスマス→周りの人への感謝

2・私は「7つの問いかけ」についてのお話がとても興味深く、じっくり向き合って考えたいと思いました。今学期の終業式で発表させていただいた作文には盛り込むことはできませんでしたが、私は「挑戦」することは、その挑戦していく過程で正しく自分と向き合うことが必要不可欠だと感じています。今回のお話から学ぶことができた7つの問いかけは、「5歳のときの自分」という過去と、「今、行っていること」という現在、そして「これから目指すこと、やりたいこと」の未来という、多面的な視点で自分を見つめることができるので、生きていく上でこの質問に出会えたことをとても嬉しく思います。私はこれまでの経験から、自分の過去と未来への理想にギャップを感じてしまうことがあっても、現在の自分を変えていく努力ができればより成長できると感じています。新年度は、新たな人との出会いに恵まれる年になるので、その出会いの中で7つの問いかけをじっくりと、自分に対して行っていきたいと思っています。

1年 H.S.

1・自立・貢献について

- ・7つの問いかけ
- ・SNSについて、スマートフォンについて

2・校長先生のお話で、「自立・貢献」という言葉について深く考えることができました。合い言葉でもあるこの言葉ですが、今の中央中の生徒はこの言葉について深く理解し、守ることができているのか、と考えると、校長先生がおっしゃっていたように SNS での使い方を誤ってしまったり、自立できていなかったりすることがあります。他の人に迷惑をかけるのは、「自立・貢献」とは程遠い姿であることを再確認しました。今までのスマホの使い方について改めて考え、SNS などの人の目につかないところでも、校長先生のおっしゃっていた「7つの問いかけ」の中の「5歳の自分は今の自分をどう思うか？」という言葉をいつも心の内に置き、子供である自分に見せても恥ずかしくないような姿を目指していこうと思いました。

2年 N.H.

1・7つの質問

- ・SNSについて
- ・健康

2・7つの質問。校長先生が私達にどんな意思をもって聞いたのかは分かりませんが、全ての質問の中で、7つ目の質問が私の心の中に響きました。「大切な人に思いを伝えているか」。私は「いいえ」という結果になりました。私にとって大切な人はたくさんいます。いつも一緒にいる親、学校に行くのが楽しい理由の友達、青春の一つである好きな人、他にもクラブチームの先輩、後輩など。今しかできないこと、今やらなきゃ後悔すること、たくさんの思いが浮かびました。この7つ目の質問がいつか「はい」になるように日頃、たくさんの思いを抱えて生活したいです。

2年 M.W.

1・7つの問いかけ → 5歳の頃の自分が、今の自分を見て誇らしいと思えるか？

2・校長先生のお話で、7つの問いかけをしました。5つ目の問いかけで、「5歳の頃の自分が、今の自分を見て誇らしいと思ってもらえるか？」でした。私はすぐに、誇らしいと思えるだろうと答えが出ました。5歳の

頃の自分は、自分に自信が無く、人前に出て何かを言ったりすることにすごく不安や緊張を感じていました。ですが、今は1年生の頃にスキー実行委員や学級委員を務めたり、2年生では合唱祭の指揮者や学級委員を務めたりと、挑戦する場面が増えました。挑戦することは大変ですが、自分に自信がつくことが分かりました。

## 2年 I. T.

1・①自分がこの1年でできるようになったこと ②今、自分がもっとも見習いたい人（インスピレーションを受けた人） ③自分が続けてきた活動 ④5歳の頃の自分は今の自分をかっこよく思うか？ ⑤今の自分にとって成功するとは？ ⑥過去に自分が決断したことで良かったなと思うこと ⑦自分にとって大切な人に気持ちを伝えているか？

・スマホの使い方

2・長かった2学期。2学期は、私にとって「成長」を一番感じられた学期だったと思います。校長先生がおっしゃっていた7つの質問。1つ目の「この1年でできるようになったこと」。それは、勉強への取り組み方、取り組み具合が変わったことです。昨年4回目の定期テスト終了後、勉強が不十分だったことを自分で痛感しました。その悔しさをバネにし、この1年、勉強により真剣に取り組めたと思います。勉強を頑張れたのは私自身の力だけでなく、クラスメイトや塾の友達のカもあつたと感じます。この人だけは越えたい！という思いが一番強く勉強したときに感じていました。そして、一番感謝しなければいけないのは母だと思いません。日頃、よく反抗してしまっていますが、1年のしめくくりにはしっかり「ありがとう」と伝えられるようにしたいです。そして、3学期は今まで以上に勉強に取り組みたいです。

## 2年 R. S.

1・学力の向上→進路→自立

・7つの問いかけ

2・終業式での校長先生の「7つの問いかけ」のお話を聞いて、2学期では周囲の気遣いができるようになったと感じました。生徒会などの活動をし、もっとも見習いたい福田市長を目指して、少しずつではありますが自立・貢献の合い言葉のもと、誰かのために動けるようになったからです。私は、「成功する」というのは、「何かを成し遂げた」ではなく、「何か大切なものを得た」ことだと思いました。私は中学2年生で「自分を律する」と決断したのですが、まだ何か大きなものを成し遂げられていません。しかし、人生で大切なものを知った気がして、小さな頃の自分にも自信を持って言えることだと思っています。また、大切な家族には伝えていませんが、卒業などの節目でしっかりと伝えたいと思いました。

## 3年 M. I.

1・自立・貢献

・七つの問いかけ

・冬休みに向けて

2・私はこの2学期、また、この9ヵ月を終え、高校受験を控えながらもたくさんの場面でクラス・学年へ貢献できたと思います。例えば、この2学期には2大行事である合唱祭がありました。私のクラスは「虹」という曲を歌い、この歌にはソロパートがあり、クラスの代表としてソロを全力で努めました。また、私は3年間ずっと体育委員をやってきました。体育祭も終え、気の緩んだクラスは体育の授業で影響を与えてしまいました。しかし、私はここで気づき、クラス全体に声をかけることができ、クラスの雰囲気をよくすることができました。校長先生からの7つの問いかけに対し、私は少し考えてしまう、なかなか答えが出てこないものがありました。特に4個目の「5歳のときの自分は今の自分をかっこいいと思えるか」では、今の私の

状況を改めて振り返るタイミングだと思いました。私は「思う」という結果を出しましたが、今の私自身であり、将来の自分も振り返ってこのような結果が出るのか不安になってしまいました。長かったようで短かった2学期を終え、冬休みでは第1志望合格、親孝行のため最低6時間の勉強をし、入試当日に向け悔いの無い2週間にしていきたいと思いました。また、私はスマホを小学6年生の頃から持ち始め、今となっては手放せないものとなりました。スマホの存在は勉強に大いに影響を与えました。そのため、自らアプリの使用時間を制限して勉強するという、時間が人生の一部だとしてもよいものにすることができることを願い、改めてスマホの使い方を見直していこうと思いました。

3年 S.I.

1・2学期の振り返りと1年の振り返り

・SNSの使い方とオーストラリアとスマートフォン

2・私がSNSの使い方やスマートフォンの使い方について感じたことは、SNSの恐ろしさを知らずに手を入れてしまっている子供が多いのだろうということです。私もスマートフォンを使うことは多く、SNSも同様に身近なものになっています。そんな中、オーストラリアの16歳未満のSNSの制限が法律で決められたことを知りました。個人的には、正しいSNSの使い方を知らないことが多い子供が、SNSという地獄そのもののような闇に手を入れることがなくなるというのは非常に良いと思いました。SNSというのは、顔を出さずに文字などで言葉を伝えることができる道具です。離れていても使えたり、身近な人と連絡を取るにはとても便利ですが、知らない人と簡単に関わることができるSNSは不便というより危険だと思います。なので、オーストラリアの法律には賛成です。スマートフォンの使い方についてですが、ながらスマホというのは前々から危険性がいわれてきていたので、ついに政府が動いたか、という印象です。ただ、ウーバーイーツなどの出前事業などで自転車でもスマホを使わないといけないような仕事の人が今回の規制で被害を受けそうなので、かわいそうだと思います。何かをするのに代償が必要なことは分かっているので何とも言えませんが、今回はメリットの方が勝ったがゆえのことだということでしょうから、この規制は良いと思います。

3年 C.U.

1・合唱祭やその他の学校行事にクラスや学年で貢献し、2学期をとおして様々なことに挑戦できたか

・スマホ(SNS)の使い方について注意してほしいこと

・自立の一つとして、自分自身の健康管理をしっかりとすること

2・私は今回の校長先生の話聞いて、この一年は成長することができた年だと思いました。今年は受験勉強を通して「一つのことに集中して継続する」力をつけることができたと思います。最初は苦しくて嫌だった受験勉強も、成績が上がっていくにつれて楽しいと思えるようになりました。私立入試まであと約1か月、公立入試までは約2か月という短い時間ですが、ラストスパートをかけて頑張りたいです。また、SNSの使い方にも注意したいです。「今年の漢字」にも関連した程、今年は“闇バイト”という言葉が流行りました。テレビのニュースで見た事件では、それに関わった多くの犯人が中学生や高校生でした。もし危険なウェブサイトや怪しいものを見かけても、関わらないようにしたいです。最近では、北九州で塾帰りの中学生二人が刺されるという悲しい事件がありました。二人は受験生だったらしく、残り少しで本番だったと思うと、とても悔やまれます。このような事件には防ぎようが無いですが、自分の身は自分で守り、危機感をもって過ごしたいです。最後に、受験生として高校生活に向けて、冬休みは規則正しい生活を送りたいです。冬休みは、しっかりと勉強時間が取れる最後の時間だと思います。このチャンスを逃すことなく、体調に気をつけながら合格に向けて計画的に勉強に励んでいきたいです。

3年 I.Y.

1・7つの質問

- ・ SNS について（テクノロジー・SNS）幸せに
- ・ 健康に1年の行事を迎え、大切な人への感謝

2・校長先生の7つの質問に答えたいと思います。①自分がこの1年でできるようになったことは？私はとにかく心配性で、受験勉強をしているとすぐ、これから先が不安になったり合格できなかったらどうしようと思ってしまったり、と思うように勉強できないことが多くありました。けれど、そんな不安や焦りをこの2学期でたくさん感じたことで、自分で自分を励まし、挑戦することへの気持ちを自分で奮い立たせることができるようになりました。自分がうまくいかないことがあったとき、自分でまた挑戦する気持ちを作りあげることができるようになったこと。それが、私がこの1年でできるようになったことです。②今最も自分が見習いたい人は？特にこの人を尊敬しているというのはいないけれど、私は自分の塾の一番上のクラスの人たちが憧れます。その人達は国立の高校や早慶などの難関校を目指している人達で、たくさんの努力をしている人を見ると、頑張ろうという気持ちになるからです。③今自分が続けてきた挑戦、なぜ？受験生だから当たり前かもしれないけれど、受験勉強をこの1年続けてきました。理由は、良い高校に入って将来の可能性を広げ、充実した人生を送りたいからです。④5歳の自分は今の自分を誇らしく思うか？絶対思います！！何倍も成長したからです！！⑤今の自分にとって、成功するということはどういうことか？ずばり、成功とは、自分が納得できる結果が出るということ！！自分が積み重ねてきたものの、結果に自分が悔しいと思うこと、もっと頑張ればよかったと後悔してしまうことは成功とはいえないと思います。⑥過去に決断してよかったと思うことは？中学受験をあきらめたこと！！中学受験をしようと思い、小学生で頑張ってきたけどつらくてやめてしまいました。やめた後は後悔したけれど、中央中に入って、やめて良かったと思っています！なぜなら、受験してたら中央中に来られなかったし、友達、先生方にも会えなかったということだからです！私は中央中が大好きです。⑦自分にとって大切な人に気持ちを伝えていますか？伝えています。お母さんに何かしてもらったとき、友達に助けてもらったとき、必ず「ありがとう！」と言っています。

3年 F.I.

1・自立・貢献を大切に

- ・ 7つの問いかけ
- ・ SNS 問題

2・私はこの学期、この1年を振り返って、自分のやるべきことを自分から積極的に行うことができたと思いました。受検生としての意識をもって生活できるように、日々の生活から見直していこうと思います。しかし、忙しいという理由で誰かにあたることがないようにしていきたいです。校長先生がお話ししていた7つの問いかけの中でも、私が最も深く考えようと思ったものがありました。それは、自分にとって大切な人に気持ちと伝えていますか、という問いかけです。受験生となり、いつも支えてくれた家族や勉強や相談に乗ってくれた学校の先生方や塾の先生方に対して、改めて感謝を伝えなければいけないと思いました。また、私の友達に色盲の子がいます。その人はいつも笑顔でいます。私はその人のおかげで、大切なことは笑顔でいることだと思いました。どんな人とも仲良くなれるようになりたいです。その人にありがとうと伝えたいです。

3年 M.A.

1・自分がこの1年の中でできるようになったこと

- ・ 自分がもっとも見習いたい人
- ・ 今、自分が続けてきた活動←なぜ？

2・私がこの1年の中でできるようになったと感じたことは、努力です。私は今まで、努力をしても途中で投げ

出してしまったり、あまり続かなかつたりしたことが多くありました。そんなときに、周りの大人からはあきれられてしまったり、「どうせ無理だ」と言われたりして悔しく感じていた頃、ある曲の一部で「大人に支配されるな」という歌詞が私の心に響き、そこから少しずつでも努力を重ね、良い結果につながるようになりました。そこで気付いたことは、周りから何を言われてもくじけず、強い意志をもち続けることだと思いました。私はこれからも、勉強に限らず努力をし続けていきたいです。

- 
- ・この1年間の締め括りを迎えるにあたって、生徒（と教師）がこれまでの自身を振り返り、これからの成長につなげるための「7つの問いかけ」、生徒の生活に直接かかわる話題として「社会におけるスマートフォンとSNSをめぐる動き」について話しました。「7つの問いかけ」は、中学生には難しいものも含まれていますが、彼ら彼女らなりにしっかりと考えて回答している内容は予想よりも多く、感心させられるものも多くあったのはうれしい誤算でした。また、スマートフォンとSNSについては、その基盤であるネットワークを含めて我々社会人はもとより中学生にも無くてはならないものになってきている状況だからこそ、少なくともその負の面も理解しなければならないと考えています。人類社会は新たなテクノロジーとともに成長、発展してきましたが、個々の人々にとっては幸せも不幸せももたらしてきました。これからの社会を生きる子供達が手にする新たなテクノロジーやイノベーションが、人を幸せにするものであってほしいと願っています。
  - ・同じ話を同じときに聞いていても、受け取り方や印象に残った内容は皆異なります。教育の面白さ、また、難しさを感じるころでもあります。
  - ・この取組には「正解」はありません。話の要点を捉え、聞いた話について自分の考えを含めて短い時間で書くことを求めるものです。

：越谷市立中央中学校 校長 石山 秀樹